

たこ、たこ あがれ!

1 月 24 日 (金)、一年生が生活科の学習でたこ作りとたこあげをしました。

当日は、3 人の地域の方において頂き、一緒にたこを作っていました。

たこが完成したら、今度は校庭に場所を移して「たこあげ」です。しかし、こんな日に限って無風の快晴! きれいな青空が広がっていて、なかなかたこはあがりません。でも、子供たちは負けません。たこ糸を片手に校庭を走り回りました。



三人の方に教えていただいたおかげで、こんなに立派なたこができました。
「よし! あげるぞ!」



天気良すぎて、たこあげには不向きでしたが、子供たちの「あげたい!」という思いの方が上回っていました。



「生活科」は平成 4 年から 1・2 年生で実施されている教科です。生活科の学習を子供たちは大変楽しみにしています。生活科には楽しい活動がたくさんあるからです。左の写真を見ても楽しそうにたこを作ったり、あげたりしているのが分かります。

生活科って何を勉強するの?

活動をして「あ〜楽しかった。」だけで終わっては学びがありません。生活科で一番大切にしている学びは「気づき」です。「なぜ? 不思議に気づく」「相違点や変化に気づく」「共通点や類似点に気づく」「理由や原因、時には解決方法に気づく」「人の様子や思いに気づく」…
教えるのではなく“気づく”ことが重要です。

今回のたこあげも単に「たこを作って、たこあげをした。」というだけの活動ではありません。ここに至るまでに、秋と冬の草木や生き物の様子の変化に“気づき”、肌で感じる風の違いに“気づき”、その“気づき”を使って遊んだり、活動したりしたことが今回の「たこあげ」につながっています。

“気づき”は、全ての教科の学習、学校での学びの土台になるものです。国語では登場人物の心情の変化に“気づく”、算数では図形の特徴や性質に“気づく”…。低学年では、遊びや活動の中で様々な“気づき”が生まれるように心がけています。



草木の変化から「ふゆ」を見つけました。
(写真が見にくくてすみません)

冬の風で遊んで、「気づいたこと」をまとめて発表しています。

